

2-01 リギングのための基本工具

- ボートの整備では、クルーも、自分の工具を持ち、基本的な整備、調整は自分でできるようにすべきです。視覚障害のために一部の工具や計測器は使えないかもしれませんが、基本的な工具について説明します。

1 レンチ

- レンチはスパナともいいボルトやナットを回す道具で、多くのタイプがあります。基本としては、「コンビネーション・レンチ」と呼ばれるもので、端がメガネとオープンエンドになっているタイプが最適です。サイズはボルトの頭の幅で呼び、よく使うのは10、13、17、19、21ミリです。柄の長めのものを、できれば各サイズを2本ずつ用意します。
- ラチェット・レンチもよく使われます。回したい方向では力がかかり、逆方向では空回りするので作業が速くなります。

2 プライヤー

- プライヤーは、物を強くはさむ工具で、いろいろなところに使います。はさむもののサイズによって、ジョイントがスリップする機構を理解しておきましょう。

3 六角レンチ（六角棒レンチ、ヘックスキーレンチ）

- 六角穴のボルトヘッドを回すための工具で、よく使うのは6ミリです。L字型が一般的ですが、T字型も最適です。なおエルゴメータでも使いますが、それはインチ規格の六角レンチです。

4 ドライバー類

- ねじ回し、ドライバーにも多様なタイプ・サイズがあります。基本として+（プラス）のNo. 2（普通サイズ）とNo. 1（少し小さいもの）、-（マイナス）の普通サイズの3本です。グリップの太いものを選びましょう。

5 計測機器 メジャー、水準器、角度計

- 視覚障害者の自力でのリギングのための、計測機器、艀装の工夫、リギング手法の開発が必要です。原理的には難しくなさそうですが、実際の工夫はこれからです。ここでは、とりあえず一般事項を記述しておきます。
- リギングのための計測器具は、ロウイング専用のもものもありますが、ホームセンターで普通に売っているメジャー、水準器、傾斜計などを使います。それらは、ある程度の視力が必要なものばかりです。
- メジャー： スイプのオール的全長が測れるように、4メートル以上のメジャー（巻尺）を使用します。スパンの計測がしやすいように、ストッパー付きで、中折れしにくい幅が広いものが適しています。
- 水準器： 水平を見る水準器。気泡管が大きく精密に測定しやすいものが適しています。クラブでは長いものもあると便利ですが、個人用の基本の1本としては、レールに渡して水平を点検できるように、比較的短い、230ミリ程度のものが良いでしょう。
- 角度計： 気泡や針によって傾斜の角度を表示するものです。ロウイング専門のものもありますが、場合によってはかえって使いにくいこともあります。なお、最近ではスマートホンのアプリで非常に使いやすいものもあります。